

ありわらのなりひら でんせつ
 ~在原業平の伝説~

平安時代、都に在原業平という貴族がいました。その時代は藤原氏という貴族が力を持っていて、その一族でない業平には仕事が回ってきません。自分の居場所を求めて旅だった業平は、隅田川（一説には現在の古隅田川）で舟に乗りました。すると、都鳥という鳥を見つけたので、京都を大変懐かしみ、次の歌を詠んだということです。「名にし負はばいざ事とはむ宮こ鳥わが思ふ人はありやなしやと」



なまえ

ねんれい

さい

がっこう ようちえん ほいくえん
 学校・幼稚園・保育園

年

組